

STRDESIGN V13.1H V13.1I の修正内容

- (1) 概要書添付資料(応力図、断面検定比図、断面検定表、プログラムチェックリスト)の出力機能(評価版)を追加しました。「構造計算」タブから出力いただけます。機能詳細は「構造計算概要書添付資料(評価版)マニュアル」をダブルクリックして参照してください。
- (2) 入力画面上において、木材樹種別強度の帳票画面の次ページが参照できない場合がある不具合を修正しました。
- (3) バルコニーに指定された天井高さが特殊壁高さより低い場合、平面図においてバルコニー手摺壁が普通の壁として描画される不具合を修正しました。
- (4) 特殊壁と建具なし開口が重なって入力された場合、平面図において特殊壁が描画されなくなる不具合を修正しました。
- (5) 構造計算結果判定基準値において、柱頭柱脚金物の判定基準値を 1.0 未満に変更している場合で上階の柱脚と下階の金物で金物を共有する場合、1ランク上の金物が引き当たる場合がある不具合を修正しました。
- (6) 凸型の物件で、最外周が仮想壁線となるケースにおいて横架材端部接合部の引張検討が行われない場合がある不具合を修正しました。
- (7) クレテック金物の柱頭柱脚金物仕様(許容せん断耐力)を最新の値に変更しました。
- (8) 入力画面の基本情報に、計算担当者の情報入力を追加しました。(V13.1H以前のデータを開くと自動的にデータ変換され、計算担当者情報が空欄で追加されます。)
- (9) 構造計算書の基本情報において設計者名を「設計事務所名 + 設計者名」とし、計算担当者(計算担当事務所名 + 計算担当者名)の行を追加しました。
- (10) 「計算・出力の内容」の「梁の設計の出力方法」において「モーメント図、たわみ図なし」のモードを追加しました。このモードで構造計算を実行し、計算書を出力すると、梁(母屋、大引)の設計において、モーメント図、たわみ図が出力されなくなります。(計算書の枚数を減らすことができます。)

STRPRIME V13.1H V13.1I の修正内容

- (1) 物件が第3象限にある場合、壁量計算チェックリストにおいて耐力壁線距離の通り情報が表示されなくなる不具合を修正しました。
- (2) V13.1H のテンプレートを使用すると、46条壁量計算の床面積において吹抜面積が追加されてしまう不具合を修正しました。(V13.1Iのテンプレートを修正しました)
- (3) 入力画面の基本情報に、計算担当者の情報入力を追加しました。(V13.1H以前のデータを開くと自動的にデータ変換され、計算担当者情報が空欄で追加されます。)
- (4) 壁量計算書の基本情報において設計者名を「設計事務所名 + 設計者名」とし、計算担当者(計算担当事務所名 + 計算担当者名)の行を追加しました。